

輝く親子の笑顔
金メダル



の祭典! ? 運動会開催



昨年は関東・東北豪雨のため中止となり、2年ぶりの開催となった町民運動会。
 少子高齢化や世帯数の減少によって選手集め



①大好きなお父さんと一緒に運動会は楽しいよね②涌谷の未来の大物たちが躍動③地域の一体感が試されるコミュニティづくり④突如として現れた応援団⑤涌谷第一小学校マーチングバンドも大会前に夏休み中の成果を披露⑥町民運動会では蹴り飛ばさず仲良く肩を組む貫一とお宮⑦町内在住であれば外国籍であっても参加して楽しんでいいんです⑧鞍馬大会の聖地・涌谷で繰り広げられる人間鞍馬⑨足の速さだけではなくテクニックも必要なパン食い競争⑩町民が集う場だからこそ交通安全と健康をしっかりと啓発⑪行政区の威信をかけた花形競技「年代別リレー」⑫威信がかかっているからこそ勇ましく堂々と宣誓

●周りを囲う写真は出場全行政区の皆さんです



2年に一度

町民運動



に苦勞するとい
う話を聞きます
が、いざ出場す
れば、時に笑顔
で、時に地域の
威信をかけて真
剣に、町民
運動会を楽
しんでいます。



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪



⑫



2歩目を紡ぐ

涌谷中学校運動会

新生涌谷中学校となって2回目の運動会が開催されました。

一から新たな伝統を創りあげる難しさ以上に、新たな伝統を創りながら受け継ぐという別の難しさがあった2年目の今回。

生徒の皆さんは、そういったプレッシャーを跳ね除け、躍動しました。

①



①黄金の丘(旧鳳ヶ丘)に描かれた人文字「紡2016」②突き上げられた拳は勝利の証③仲間たちへのエールにも熱がこもる④⑥⑧新生涌谷中学校としての2年目の一体感が団体競技に現れます⑤少ない練習時間でも華麗にバトンパス⑦先生方も生徒に負けじと涌中トレイン。きまってます!⑨突如として現れ花を添えたブルーインパルス

幼稚園・こども園・保育園でも～、
秋の大運動会を開催～！



ののだけ幼稚園
のんのんオリンピック2016



ののだけ幼稚園撮影協力
柏谷写真館



さくらんぼこども園
めざせ未来の日本代表
さくらんぼキッズオリンピックうんどうかい



涌谷幼稚園
わくわくオリンピックうんどうかい



涌谷南幼稚園
大運動会★宇宙探検に出発だ



涌谷保育園



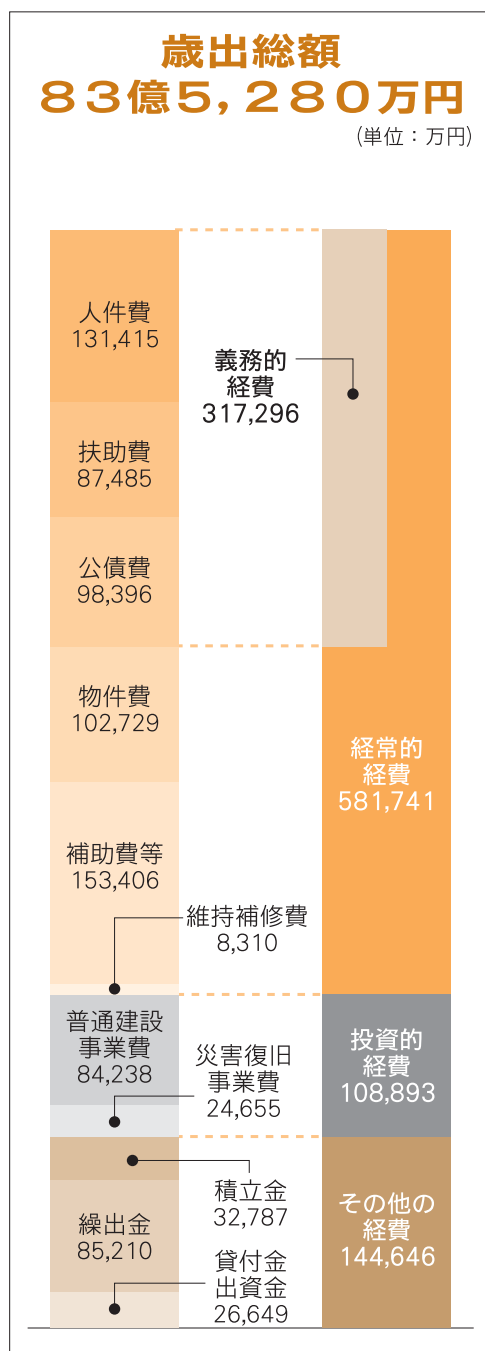
一般会計決算のあらまし

平成27年度の一般会計決算は、歳出では、箕岳白山小統合関係経費や病院事業負担金などの増により、歳入では、地方債の借換をおこなったことなどから歳入歳出とも増額になりました。歳入（収入）総額89億8,037万円、歳出（支出）総額83億5,280

万円となり、平成28年度に繰り越す財源を差し引いた1億9,057万円が剰余金（実質収支額）となりました。この剰余金を平成28年度予算に繰り越したのち、地方財政法の規定により、二分の一の9,600万円を平成28年度基金（町の貯金）に積み立てます。

支 出		26年度との比較
生活費合計	269万円	(-2万円)
食費	73万円	(-5万円)
医療費	49万円	(-5万円)
光熱水費、消耗品	57万円	(4万円)
車等の修理代	5万円	(-1万円)
その他の生活費	85万円	(5万円)
子ども等への仕送り	62万円	(9万円)
ローンの返済	55万円	(14万円)
家の改修、車購入費	61万円	(-44万円)
貯金	18万円	(8万円)
支出合計	465万円	(-15万円)
余り(収入-支出)	35万円	(15万円)
ローン残高	376万円	(-7万円)

- ① **人件費**
町職員の給料や議員報酬など
- ② **扶助費**
障害者支援、医療費助成など福祉に使ったお金
- ③ **物件費**
光熱水費、消耗品費、業務委託料など
- ④ **維持補修費**
道路、公共施設などの維持費
- ⑤ **補助費等**
負担金、補助金など
- ⑥ **繰出金**
下水道事業や国民健康保険など他の会計への繰出金
- ⑦ **公債費**
町債の元金・利子
- ⑧ **普通建設事業費**
道路・学校など公共施設の新設、改修に使ったお金
- ⑧ **災害復旧事業費**
地震や大雨などの災害にあった施設等の復旧に要したお金
- ⑨ **積立金**
将来の財源変動に備えて積み立てたお金



※町のローン残高（地方債現在高）は67億5,857万円です。

27年度はこんな仕事をしました

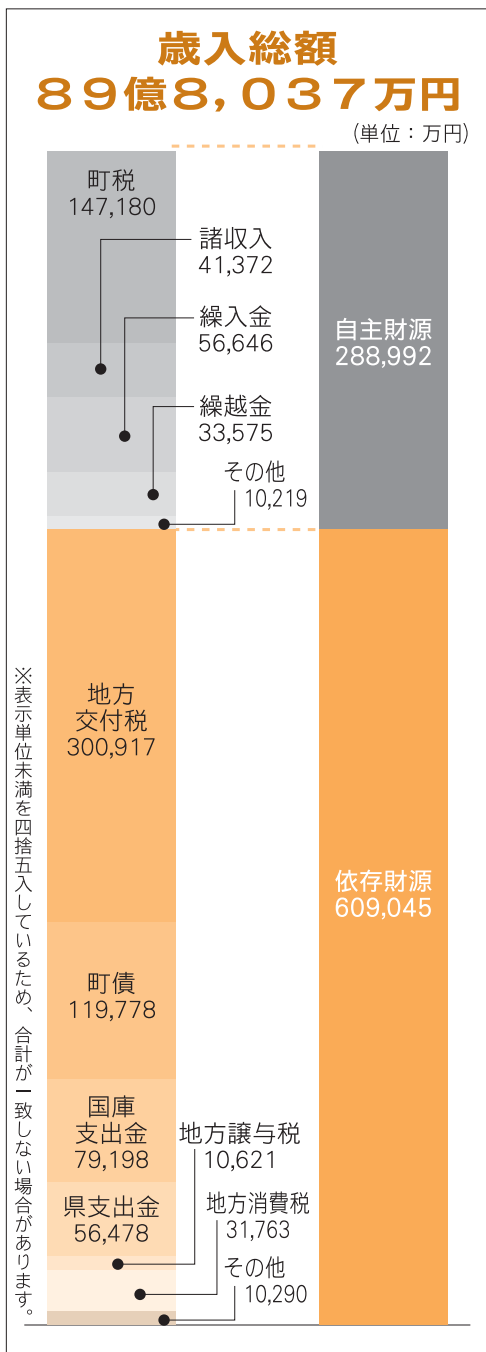
- 企業誘致用町有地整備事業の着手、企業誘致推進
- 箕岳白山小学校へ向けての校舎改修事業の着手
- 消費税増税対策として福祉給付金、子育て給付金を給付
- 災害復旧事業として涌谷公民館の新築及び周辺整備の実施
- 「生薬を活かした町づくり」の一環として町内産薬用作物はと麦を原料とした『金さんのはと麦茶』開発

- 再生可能エネルギー導入事業として指定避難所の「ゆうらいふ」、「涌谷公民館」へ太陽光発電設備を設置
- 県営ほ場整備事業(出来川左岸上流地区)の推進
- 「かがやく協働まちづくり研究所(デザインラボ)」で今後の町について参加者と共に考え、まちづくりリーダーの人材育成の実施
- 中学生の海外研修をはじめとし、埼玉県のと十字学園女子大学や山形県大石田町との交流事業の実施

平成27年度

平成27年度の決算が、9月に開催された定例議会で承認されました。みなさんの大切な税金がどのように使われたのかを1年間の収入500万円の家計にたとえてお知らせします。

涌谷町決算報告



町税①
町民税、固定資産税、軽自動車税、たばこ税など

分担金・負担金②
保育所や老人ホームに入所する際の負担金など

使用料・手数料②
公共施設の利用料金や住民票の写しの交付手数料など

譲与税・交付金③
国税・県税のうち町に対して交付される分

地方交付税③
国税のうち町に対して交付されるもの

国庫支出金③
使い道が特定される国が町に対して支出したお金

県支出金③
県が町に対して支出したお金

諸収入④
預金利子や雑入など

町債⑤
町が国や銀行から借りたお金

繰入金⑥
町の基金から引き出したお金

繰越金⑦
前年度に残ったお金

収入		26年度との比較
現金収入合計	360万円	(-62万円)
① 給料	82万円	(-5万円)
② パート収入	6万円	(-2万円)
③ 親世帯からの援助	272万円	(-55万円)
④ その他の収入	23万円	(8万円)
⑤ ローン(借入金)	67万円	(35万円)
⑥ 預金の取り崩し	31万円	(17万円)
⑦ 繰越金	19万円	(2万円)
収入合計	500万円	(±0円)

貯金残高 65万円 (-20万円)

※町の貯金残高(財政調整基金、減債基金)は1億6,848万円です。

27年度決算のポイント

- 歳入総額では、各種交付金や地方交付税で減額となったものの、国県支出金や借換による地方債の増額により前年対比5億1,250万円(6.1%)の増額となりました。
- 歳出総額では、町立病院に対する経費、企業誘致事業や地方債の借換などで増となり前年対比2億2,768万円(2.8%)の増額となりました。
- 町税は、震災からの回復等により558万円の増

- 地方交付税は、震災復興特別交付税等の減額により1億7,370万円の減
- 町債(借入金)は、借換を行ったことや投資的事業の増加により6億5,808万円の増
- 公債費(借入償還)は借換債により増
- 物件費は小学校統合に伴うスクールバス経費等により増
- 投資的経費は企業誘致用町有地整備事業等により増となったものの、災害公営住宅整備事業の完了により減

特別会計・企業会計の決算状況

企業会計

企業会計	収入	支出
水道事業会計		
〈収益的収支〉	4億6,036万7千円	4億1,504万7千円
〈資本的収支〉	2,937万9千円	1億3,045万5千円
●給水人口 16,402人 ●年間配水量 1,594,962m ³ ●給水戸数 5,977戸 ●年間有収水量 1,350,324m ³		
病院事業会計		
〈収益的収支〉	20億3,423万7千円	21億2,908万4千円
〈資本的収支〉	2億1,892万6千円	2億2,229万6千円
●患者数 入院 32,496人(年間延)(1日平均 88.8人) 外来 59,077人(年間延)(1日平均 243.1人)		
老人保健施設事業会計		
〈収益的収支〉	4億9,097万8千円	4億8,796万7千円
〈資本的収支〉	—	2,978万2千円
●入所者数 28,896人(年間延)(1日平均 79.0人) ●通所者数 11,184人(年間延)(1日平均 35.7人)		
訪問看護ステーション事業会計		
〈収益的収支〉	5,608万3千円	5,445万5千円
〈資本的収支〉	—	253万6千円
●訪問看護利用者数 3,188人(年間延)(1日平均13.1人) ●訪問リハ利用者数 3,632人(年間延)(1日平均14.9人)		

※資本的収入が資本的支出に不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補てんしました。

特別会計

特別会計	歳入	歳出
国民健康保険特別会計	27億1,093万円	26億3,130万9千円
●被保険者数 5,269人 ●一人当たり費用額 337,900円		
後期高齢者医療保険特別会計	1億6,149万4千円	1億5,714万4千円
●被保険者数 2,860人 ●一人当たり費用額 724,931円		
宅地造成事業特別会計	132万3千円	1千円
公共下水道事業特別会計	6億7,128万8千円	6億5,499万2千円
●建設事業費 3億1,570万9千円		
農業集落排水事業特別会計	1億2,783万8千円	1億2,510万9千円
介護保険事業特別会計	16億6,618万1千円	16億3,403万9千円
●被保険者数 5,405人 ●要介護(要支援)認定者数 942人 ●保険給付費 14億7,852万円		

健全化判断比率等の状況（平成27年度決算）

① 健全化判断比率

(単位：%)

実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
— (15.00)	— (20.00)	10.1 (25.0)	73.8 (350.0)

※()内は早期健全化基準です。実質赤字比率・連結実質赤字比率は黒字であるため「—」で表示しています。

② 資金不足比率

(単位：%)

特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0
病院事業会計	—	
老人保健施設事業会計	—	
訪問看護ステーション事業会計	—	
公共下水道事業特別会計	—	
農業集落排水事業特別会計	—	
宅地造成事業特別会計	—	

※資金不足比率は黒字であるため「—」で表示しています。